

【英語】

～ClassPad.net の同時編集機能・授業支援機能を活用する～

英語で魅力的な書き出しを考える授業

読者を惹きつける魅力的な文章の書き出しを考える力を養う。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：英語で文章を書くことへの抵抗感を和らげさせるとともに、生徒のクリエイティビティを発揮させる。

生徒向けの目標：英語で文章を書く力を鍛えるとともに、魅力的な書き出しを考える力を養う。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・**プリント削減**：授業で用いる資料やワークシートをデジタル化することで、紙媒体の資料を削減することができる。
- ・**協働学習促進**：授業支援機能を活用することで、個人の作業をグループに共有することができるとなり、グループワークをスムーズに行うことができる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

【Hookとは】
読み手を惹きつけるための
魅力的な文章の書き出しのことをいう。

【Hookがもたらす効果】
読み手の関心を引き、続きを読みたいという
気持ちを引き出す役割をする。

概要の説明

魅力的な文章の書き出し (Hook) を考えられるようになることが本授業の目的であること、5~6人のグループで一つ良い Hook を考えてもらって、最後は投票で優勝を決める説明する。

step2

【1 質問型のHook】
読み手を惹きつける効果的な方法として、読者が考えることのできる質問を投げかけること。

(例文)
Why doesn't a small candy store collapse?
(なぜ、小さな菓子屋さんは潰れないのでしょうか？)

テーマの説明

読者を惹きつけるための文章の書き出しである Hook について、いくつかの型（質問型・引用型・興味深い事実型・物語型・予想外の主張型）と具体例を提示しながら説明する。

簡単なワークシートを作って、英語で書かれた短い Hook がそれぞれどの型で書かれているかを結びつける作業を各自行い（5分間ほどとる）、全員が提出したら答え合わせをする。なお、分からぬ単語は EX-word 機能を用いて調べさせる。

教員は Hook について説明したテキストふせんと、Word 等で作成したワークシートのファイルふせんを授業支援機能で生徒に共有する。

生徒は提出機能を使ってワークシートを提出し、教師は必要に応じて生徒の解答を投影しながら答え合わせをする。

step3

【魅力的なHookを考えよう！】

（テーマの例）

- 宿題
- 収集
- ゲーム
- 恋愛
- 勝利
- など

個人作業

テーマをいくつか用意して、ふせんを用いて黒板等に提示する。それぞれについて各自魅力的な Hook を考え、ふせんに書く。Hook を考えるのに有用なデータ等もふせんで教員側から共有する。（10分間ほど）

教師はテーマをテキストふせんを用いて提示し、授業支援機能で生徒にも送信する。また、Hook を書く際に必要なデータ等もテキストふせんやファイルふせんを用いて生徒に送信する。

step4

【グループワークの説明】

- 各自で考えたHookをグループ内で共有し合う
- 最も良いHookをグループの中から1つ決めよう
- 新たにテーマを考え、それについてのHookを考えても良い（その際、インターネットでの調べ物やEX-word機能を用いて也可）
- 各グループで決まったHookは、クラスで共有します！
- 最後に、投票で最も良かったものを決めます！

*生徒の創作例 【1班】

Are you tired of feeling overwhelmed by the amount of homework you have to do?
(宿題の量に圧倒されることにうんざりしていませんか?)

グループワーク

5~6人のグループを作り、step3で各自が行った作業をグループのメンバー同士で共有し合う。それをもとに、より良いHookにするにはどうすればよいかをグループで話し合い、各グループで最もよくできたHookを一つ決めたら、教員のデジタルノートに参加し、用意されたテンプレートに書き込む。なお、step 3はブレインストーミングなので、step 3で提示されたテーマを用いてもよいし、各グループで新しいテーマを考えてそれについてのHookを書いてもよい。インターネットで調べ物をしてもよい。これらのルールについては教員がふせんで黒板等に提示する。最後に投票で最もよかつたものを決めることも伝える。（15~20分間ほど）

授業支援機能を用いて、個人で作業した内容が書かれた各種ふせんをグループのメンバー同士で送信し合う。

最もよい Hook は、教員のデジタルノートに用意したテンプレートに、同時編集機能を用いて書き込む。なお、Hookを考えるにあたって、EX-word 機能を用いて英単語を検索させてもよい。検索した単語はグループ全員が共通して知らない英単語なので、EX-word ふせんにして残させるとよい。

※Ex-word 機能は有償になります。別途ご購入いただくことでこの機能はご利用いただけます。

step5

・1班...	12票
・2班...	4票
・3班...	4票
・4班...	

投票・講評

教員のデジタルノートに書き込まれた各班の Hook を見て、自分が最も惹きつけられ、本文を読みたいと思った Hook が書かれているものを考えさせ、挙手にて投票してもらう。なお、自分の班には投票してはいけない。最も得票数が多かったグループを発表したあと、各 Hook について教員が講評を加える。

投票の方法は、教員のデジタルノートに「1班 宿題」のように班の番号と Hook のテーマを記載したテキストふせんを用意し、生徒たちが挙手した数を記録していくこととする。

なお、各班のふせんを矢印で繋いでスライドショー形式にすることで、教員は各班の Hook についてスムーズに講評することができる。

step6

【授業で学んだHookをどう活かしていくか】

Hookは、読み手を惹きつけるための魅力的な文章の書き出しであり、読み手の興味を引き、続きを読みたいという気持ちを引き出す役割をする。

以上から、
Hookは英語だけではなく、
日本語で文章を書くときにも必要な力である。

学校やコンクールの課題文、
スピーチやプレゼンテーションなど...
書き手の文章力をアピールする手段として、
今後も大きな意味を持つといえる。

まとめ

Hook の書き方についての確認と、授業で学んだことをどのように活かせるかの応用例を挙げる。英語だけではなく、日本語で文章を書くときにも必要な力であることを伝えて、授業を締めくくる。

授業のまとめが書かれたテキストふせんを投影し、説明する。授業の応用例を上げる際には、ファイルふせんを用いて Word ファイルを投影しながら説明する。

step7

【Hookを使った文章を作ろう！】
各グループで考えたHookの続きを、1段落分の文章にして完成させよう。

①テーマの背景を考えたり、
テーマに関する情報をたくさん集めたりしてみよう。

②最後に自身の考えなどを取り入れて書いてみよう。

参考・補足

自分の班で考えた Hook の続きを各自で 1 段落分書く。Hook の後にそのテーマの背景や予備情報、その後に自分自身の主張を書くことなどを、ふせんを用いて生徒に説明する。授業の残りの時間で終わらなかつた分は宿題として、生徒は書いたものをファイルふせんやテキストふせんの形式で提出する。次の授業の冒頭で時間があれば、同じ Hook でも続きを文章がいかに異なるかを各グループで比較してみる。

Hook の後の文章構成については、テキストふせんを用いて説明する。生徒には、ファイルふせんやテキストふせんを用いて課題を提出させる。